

めざす学校像

- 1 「わかる・できる」を実感する授業づくりをする学校
- 2 学びの場にふさわしい教育環境の整った学校
- 3 保護者との関係を大切にする学校
- 4 地域に理解され、協力を得て信頼される学校
- 5 教職員が互いに学び合い、高め合い、協働する学校

人権尊重の精神を基に、明るく健康で、知性と感性に富んだ児童を育成するために次の目標を設定し、その実現を図る。

地域を大切にし、地域を愛する児童の育成

子供たちは地域で育つ。地域への愛着をもち、生まれ育った高松小の地域のよさを感じられる教育活動を目指す。

経営の基本的な考え

- 1 子どもの真の笑顔を導き出す教育
- 2 互いに切磋琢磨し、協働の姿勢をもつ組織
- 3 保護者・地域の信頼を受ける教育活動

教育目標を達成するための基本方針

- 全教育活動を通して、児童の身近な環境（人・社会・自然）に対する関心を高め、地域（環境）を大切にする態度や心情を育てることで豊かな心の育成を図る。
- 生命を尊重する心や他人を思いやる心を育てるため、多様な人との交流活動や体験的な学習を積極的に行っていく。「特別の教科 道徳」を基に、学校の教育活動全体を通して道徳教育の充実を図り児童の道徳性を高めていく。
- 授業時間を充実させるとともに個に応じたきめ細やかで段階的な指導を行う。また、タブレット・PCの活用や家庭との連携を通して家庭学習を充実させ、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っていく。
- 児童が学ぶ喜びを実感できる指導法や少人数指導などの授業形態を各教科で工夫・改善することを通して、深く考える力、豊かに感じる力およびコミュニケーションを図る意欲や技能を高める。授業における言語活動を充実させることで思考力・判断力・表現力を伸ばす。
- 体育科の授業や体育的活動の中で運動の楽しさを味わわせることを通して、日常的に運動に親しむ態度を育て、体力の向上を図る。また、食育指導・保健指導を重視し、児童の健康と体力の増進を図る。
- 児童の生活基盤は家庭・地域であることを踏まえ、地域とのつながりを学習内容に生かす。体験等の活動に地域人材を活用し、興味・関心を高める学習指導を行う。
- 特別支援教育を推進するために、全児童の実態を把握し、全職員で共有しながら個に応じた支援を行う。
- 家庭・地域・社会・関係諸機関との連携をいっそう深め、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めるために、地域に情報を発信し、外部専門家を活かした教育活動を推進する。
- SDGs 17のゴールを見据え、児童を取り巻く社会現象を自分事として捉えられるよう、事実を基に学習指導を進める。

○ 指導の重点（人権・道徳教育を全ての教育活動の基盤とする）

◎ 健康・勤勉で礼儀正しい子の育成に努める

学習指導

- 在校時間の80%は授業時間であることを自覚し
- 1 学ぶ楽しさを実感させる授業
- 2 学ぶ必然性と学習の一般化を図る。
- 3 学習が分からない子Oを目指す
- 4 基礎・基本の定着・家庭学習の充実（家庭の協力を得る）
- 5 課題解決型・探究型の学習過程の構成
- 6 学習活動全体を通じて言語活動の充実
- 7 個に応じた指導の充実
 - ・1・2年算数 少人数指導（副担任による）
 - ・3～6年算数 少人数指導（担任・教員）
 - ・夏季休業中の補習
- 8 持久走・縄跳び等の体力の向上
- 9 地域人材・自然・施設を活用した体験的な学習の充実
- 10 ALTを活用した英語活動
 - 3・4年…20時間 5・6年…35時間
- 11 タブレットPC等の機器を活用し、学習の質を高める。さらにドリルパーク等で、学習の習熟を図る。

生活指導・進路指導

- 相手を認め思いやる気持ちを大切にすることを指導の根本とする
- 1 正しいことを正しいと言える環境づくり
- 2 基本的な生活習慣の定着を図るため、個に応じた見届ける指導の徹底
- 3 朝の健康観察の重視。健康状態の把握。欠席児童の確認・連絡の徹底
- 4 いじめ、不登校、問題行動、人権侵害等への迅速な対応（二二二アンケート・児童相談日）
- 5 差別・偏見の根絶、互いの違いや異なり・よさを認め合う人権教育
- 6 スクールカウンセリング機能の充実
- 7 安全・安心な学校生活を送るため危険を予知・回避する能力の伸長
- 8 SNSルールをもとに情報倫理に基づいたICTの活用
- 9 学習・生活のきまりの徹底

特色ある教育活動

- 「学び合い」「かかわり合い」「自然愛」の「3つのあい」をキーワードとし、豊かな人間性を養う
- 1 話し合い、伝え合い、考え合いなどの学び合いを意図的に授業に取り入れ、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成
- 2 分かる喜び、できる喜び、感じ・考え・表現する喜びを実感させるため、研究による授業改善、少人数指導、朝学習・長期休業中の補習の充実、体験活動・読書活動の実施
- 3 自然を愛する心の育成のために学級園やフラーロード、地域菜園等の効果的な活用
- 4 千川中・要小との小中連携教育の推進
- 5 オリンピック・パラリンピック教育のレガシーとして、障がい者理解教育および共生社会の担い手の育成
- 6 生活・総合的な学習の時間を中心としたSDGsへの取り組み
- 7 区内の特色ある歴史や文化を地域の方々から学ぶ「豊島ふるさと学習」

特別支援教育

- 共生社会を目指して、個々の児童のニーズに合った教育支援を行う
- 1 校内委員会の充実
 - ・校長・副校長・コーディネーター・SC・養護教諭・担任等
- 2 特別な支援を必要とする児童の把握・理解・指導
- 3 巡回相談の実施
- 4 教育センター就学相談、子ども家庭支援センター、幼稚園、保育園、中学校等関係機関との連携
- 5 担任による児童の状況把握と生活指導者としての情報共有
- 6 個別支援計画・評価の改善
- 7 特別支援教室「あすなろ」を活用した指導の充実や巡回指導教員と特別支援教室専門員の専門性を活かした指導